整　形　外　科

【実習目標】

外来で初診患者の医療面接を行い，診察法，診断および外来処置について学習する。
病棟で入院患者を診察し，病棟での治療内容，手術内容および術後の機能訓練について学習する。
整形外科手術を手術室で見学して，整形外科の手術的治療について学習する。
整形外科の主要疾患を効率よく学習し、鑑別診断の方法や治療の方法について理解する。
知識，技術のみでなく，医師としての心がまえ，態度を習得する。

【行動目標（到達目標）】

1．医療面接
患者の病態に関して，必要な情報を取捨選択し，整理できる。
2．診断
運動器疾患に関する視診，触診，計測，神経学的診察法について理解し，説明できる。
単純X線検査，脊髄腔造影検査，CT検査，MRI検査の基本的事項を理解し，結果を解釈できる
3．主要疾患の病態と治療
主要疾患の病態を理解し、鑑別診断の原則に基づいて診療の計画を立案することができる。
主要疾患の治療法について理解し，説明できる。
症例を要約する習慣を身につけ，適切な時間で提示できる。
4．術前・術後管理
運動器疾患の術前・術後管理について理解する。
5．手術において清潔の概念を理解し、実践できる。
6．医師の守秘義務
医師の守秘義務について理解し，履行できる。

【実習内容】

1．月曜日のオリエンテーション時，学生１人ずつに指導医が割り当てられる。
担当患者を指導医とともに診察し，その疾患に関してレポート作成および発表（金曜日）を行う。
2．火、金曜日は指導医師の指示に従い，手術室で手術を見学する。
3．水曜日の病棟総回診で，整形外科入院患者全般の治療内容と治療体系を学習する。
4．月・水・木曜日の午前中は，外来で脊椎・腫瘍・手・股関節・膝関節・リハビリ領域の疾患を学習，
外来で初診患者の病歴を聴取後，診察および治療を見学する。
5．水曜日の午後は整形外科的特殊検査を見学する。
6．月・木曜日の午後は指導医師の指示に従い，病棟で学習する。
7．火曜日の朝は関節鏡実習，水曜日の午後の後半はマイクロサージャリー実習を行う。

【注意事項】

1．白衣を着用すること。
2．手術室に入る時は，手術衣に着替え，帽子とマスクを着用すること。
3．グリーンのシート（清潔，消毒済を表す）には不潔な手で絶対に触らないこと。
4．患者さんに接する時の注意。
ａ．頭髪を清潔にすること。
ｂ．ネクタイをつけること。
ｃ．ズボンは折り目の入ったものを着用すること。
ｄ．靴を履くこと。（下駄，サンダルは禁止）
5．相手に不快感をあたえないような丁寧な言葉を使うこと。
6．患者さんの情報が流出しないように厳重に管理すること。
7．医師になるべき者としての十分な自覚を持ち，実習にあたること。

【評価方法と配点】

1．実習全体における姿勢，態度，取り組み（25点）
2．手術室における清潔の概念の習得度（25点）
3．症例発表における疾患の理解度（50点）

［日程表］

	8:00	9:00	10:00	12:00	13:00	14:00	16:00	17:00	18:00
月		オリエンテーション	外来実習、医療面接 （外）		昼食	病棟実習（病）			
火		関節鏡実習	手術見学（手術室）手洗い実習		昼食	手術見学（手術室）講義			
水		病棟総回診（病）	外来実習、医療面接 （外）		昼食	検査見学 （放射線部）マイクロサージャリー実習講義			
木		外来実習、医療面接 （外）			昼食	病棟実習（病）			
金		手術見学（手術室）講義			昼食	手術見学（手術室）手洗い実習			クリニカルカンファレンス（研）

担当教員

所属：大学院医系科学研究科
安達 伸生　教授

膝関節	安達　伸生	研究科	教授
外傷	大饗　和憲	研究科（四肢外傷）	寄附講座教授
膝関節	中前　敦雄	研究科	准教授
外傷	四宮　陸雄	研究科（四肢外傷）	寄附講座准教授
足	中佐　智幸	研究科（人工関節）	寄附講座准教授
脊椎・脊髄	中前　稔生	研究科	講師
手	兒玉　祥	病院（未来医療センター）	講師
股関節	庄司　剛士	研究科（人工関節）	助教
肩	原田　洋平	病院	助教
腫瘍	古田　太輔	病院	助教
足	生田　祥也	病院	助教
腫瘍	作田 智彦	病院	助教
外傷	林 悠太	研究科（四肢外傷）	寄附講座助教
膝関節	猫本 明紀	病院	助教

中前敦雄　准教授
Tel: 082-257-5231
nakamaei@hiroshima-u.ac.jp